

高松塚古墳壁画劣化原因調査に係る余白漆喰のサンプリング調査

高松塚古墳壁画劣化原因調査検討会（第 10 回 9 月 1 日）、古墳壁画保存活用検討会（第 6 回 8 月 4 日）における高松塚古墳壁画余白漆喰のサンプリング調査の実施に係る検討を踏まえ、9 月 15 日に奈良文化財研究所（本部・奈良市）において、奈良教育大学金原准教授研究室蔵の余白漆喰資料（試料）のサンプリングを開始した。

また、同日、奈良文化財研究所（都城調査部飛鳥・藤原地区・橿原市）において、すでに一部は実施済みであった目地漆喰のサンプリング調査用資料についてもサンプリングを実施した。

当日は、文化庁、奈良文化財研究所、東京文化財研究所職員その他、高松塚古墳壁画劣化原因調査検討会の北田委員（副座長）、成瀬委員、奈良教育大学金原准教授が立ち会われ、指導・助言された。



北田副座長による余白漆喰資料の検討
（於奈文研本部 左から成瀬委員、金原准教授）



サンプリング調査用目地漆喰の選定
（於奈文研都城調査部飛鳥・藤原地区）